

新年のご挨拶



一般社団法人日本エレベーター協会
会長 藤澤 孝

新年、明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、ご家族と共に穏やかな新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。旧年中は当協会の活動に格別のご理解を賜り、深く感謝申し上げます。本年もより一層のご支援を賜りたく何卒よろしく願いいたします。

さて、2020年は「新型コロナウイルス」の影響により東京2020オリンピック競技大会は延期となり、4月の緊急事態宣言発出により大幅に人の移動が制限されました。その後も11月以降第3波が押し寄せており、医療体制にも大きな不安を抱えた状態で新年を迎えることになりました。まだまだ予断を許さぬ状態が続きますので皆様も十分ご留意願います。

当協会の活動も大きく制限され、緊急事態宣言発出直後は委員会等の中止が相次ぎましたが、運営方法を模索しながら理事会、各委員会、支部長会議及び委員長会議をWebでの会議開催を実施してまいりました。また、「昇降機基礎教育講座」もWebにて開催し157名という大勢の皆様に参加いただきました。今後もWebと対面を織り交ぜてより効果的な運営を行なって参りたいと思います。また、「新型コロナウイルス」に対して、一般利用者向けのリーフレットを発行し、管理者向けの昇降機保守点検等に関するお願いをホームページに掲載いたしました。今後も利用者及び管理者向けに情報発信を適宜行って参ります。

また、このような外出が制限される中でも、昇降機据付及び保守に従事されている会員の皆様におかれましては、厳しい環境の現場にて作業いただきまして改めて感謝申し上げます。しかし残念ながら、労働災害の発生が後を絶ちません。特に年始及び年度末の発生が多いため会員各社におかれましては、改めて基本動作の徹底、作業手順の遵守等を実施いただき、自らの安全は自らで守るという強い意志で、労働災害撲滅に向けた取組みを重ねてお願いいたします。

2021年は「昇降機の安全、安心の実現」に向けた法令制定及び改定への積極的な参画と共に、利用者、所有者及び管理者への安全利用周知活動を実施いたします。建設キャリアアップシステムへの取組みを進め、昇降機技能者の地位向上に繋げ業界の技術者確保を推進して参りたいと思います。また、協会内の事業運営基盤を強化し、デジタル化を推進していくことにより、働き方改革も念頭に置いた取組みを実施して参ります。

最後になりましたが、この一年皆様とご家族の方々が安全で健やかに過ごされますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。